



今年度から自立活動通信から独立して、LSからもいろいろな情報発信（認知や発達、最新の動向など）をしていきたいと考えています。今回は特別号として単独で、みなさんの「LSってなんだ？」「コーディネーターと何が違うの？」「LSは出張ばかりで何してるの？」「地域支援って？」という疑問にお答えします！！

LS（リーディングスタッフ）は、府の事業である「地域支援整備事業」に基づいて活動しています。

地域支援整備事業とは

【要綱】：障がいのある幼児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う支援教育を進めるため、府立支援学校内の支援体制の整備はもとより、府内において、府立支援学校と市町村関係部局等が連携し、「地域支援リーディングスタッフ」等を活用して、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校の教職員や保護者の様々なニーズに即応できる体制（以下、「地域支援体制」という。）の整備を図る。

（実施要綱より一部省略）

支援学校の「センター的機能」を発揮するための枠組みとも言えますね。その業務の中身は、要項から引用すると・・・

府立支援学校は、支援教育のセンター的機能を発揮するため、市町村関係部局等、小・中学校等からの要請に応じて以下の活動を行う。

- ア 訪問相談（学校訪問型・地区拠点校訪問型）や来校相談
- イ 合同相談会の企画や協力
- ウ 障がい理解推進、校内委員会等の体制づくりへの助言
- エ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用に向けた助言
- オ 地域における教育、医療、保健、福祉、労働等の関連機関との連携・協力体制の構築
- カ 市町村関係部局等、小・中学校等が主催する研修会や協議会への参加
- キ 小・中学校等の教職員に対する研修講師の派遣
- ク 自立活動等における指導実践の公開、教材・教具に関する情報提供及び貸し出し等
- ケ 専門性の向上にむけた研究協議会・研修への参加
- コ その他、大阪府教育庁が必要と認める支援



リーディングスタッフ、コーディネーターが中心となって、自立活動支援部が地域支援整備事業を担当しています。

○リーディングスタッフ（LS）とは・・・？（LSとCOとLTの関係）

「府内の支援教育推進の中核を担う」者として支援学校で2名任命されます。コーディネーター（CO）との違いは、専門性やその役割はLSとCOで一部重なりますが、LSは地域支援の中心となり、COは各学校内における支援教育の推進を担ったり、LSと同伴するケースが多いです。地域校でもCOは指名されており、地域校内での支援教育に関する様々なところで中心的な役割を果たしています。

また各市町村地域校では、各学校のCOを束ねるリーディングチーム（LT）が任命されています。LSは各市町村教育委員会だけでなくLTとも協力して様々な取り組みを行っています。

○南河内ブロックの取組み

地域支援整備事業は、府内8つのブロックに別れて活動しています。南河内ブロックは、富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村の6市2町1村から成ります。地域支援といえば、訪問相談のイメージがありますが、活動の内容は各ブロック、各市によって異なり、LSがLT、教育委員会事務局の指導主事と協力して様々な研修、実践交流・報告、情報交換などを行っています。（南河内ブロック全体の研修や活動もあります）

○地域からの相談例

- ・発達検査をお願いしたい。
- ・学習が遅れている。理解につなげる良い手立ては？
- ・学力に問題はないが、対人関係のトラブルが多い。
- ・通常の学級に在籍しているが問題となる行動で困っている・・・などなど



LSの活動は校外で行うことが多いので、なかなか見えないのではないかと思います。ざっくりとした今回の説明でも、みなさんに内容を知ってもらえたらと思います！